



能古博物館だより



20代後半の長谷川町子さん

『博多湾物語』と長谷川町子さん

理事長兼館長 原 寛

全13巻を約30年ぶりに復刻(発売中)すると大ベストセラーになった。

世に『サザエさん学』なるものがあつて、大学教授が主宰する学会がその成果を1冊にまとめると対抗本も出て、大のオトナたちが侃侃諤諤、蘊蓄を傾ける。

国民的漫画の誉れ高い『サザエさん』の作者長谷川町子さんは戦中戦後の青春時代を福岡市で過ごした。このことはよく知られている半面、エッときどき方も少なくない。『博多湾物語』を約6年前から展開する私の博物館をお訪ねいただくと、町子さんの大きな写真が皆様をお迎えするが、たいていの方がどうしてここに、とお聞きになる。

「実は長谷川町子さんは対岸の百道浜(現シーサイド百道)で暮らしていたことがございまして、磯野一家のキャラクターは浜辺を散歩しながら作ったそうです」と申しあげると、フーンと納得なさる。

1946(昭和21)年4月22日、漫画サザエさんは地元紙夕刊フクニチに初登場。1949年12月、朝日新聞の夕刊に移って全国的な反響を呼び、2年後朝刊社会面の指定席に座ると(途中休載をはさんで)1974(昭和49)年2月21日まで、6、477回の長きにわたって、茶の間の人気者だった。延々28年間、よくぞ描き続けられたと感嘆する。町子さんは1992(平成4)年5月27日逝去、享年72歳。政府は国民栄誉賞を贈って功績をたたえた。

人気は未だに衰えない。フジテレビがアニメを全国ネットすれば夕飯前のヒット番組になり、今春、朝日新聞出版が『よ



原 寛

りぬきサザエさん』

評論家の樋口恵子さんもそのひとりだ。1993(平成5)年に執筆した名著『サザエさんからいじわるばあさんへ』女・子ども生活史(ドレメ出版)は、私の手元のもので7版を数えるが、借しことに絶版。古本市場でさえないかな手に入らない。

樋口さんの視点は学会派とはいささか異なる。自ら当時西新町にあった町子さんの旧宅に乗り込んで、丹念にスケッチし、ご近所の聞き込みでワカメちゃんのモデルと会い、いじわるばあさんの原型を突き止める。サンデー毎日が連載した『いじわるばあさん』もまた町子永遠の名作である。

当館では樋口さんと西日本新聞社の格別のご好意で、貴重な旧居の見取り図や一時期、同新聞社に在職した町子さんの挿し絵3点などを常設展示している。

また『よりぬきサザエさん』と文庫版『サザエさん全集』を喫茶コーナーに備えた。対岸のシーサイド百道を眺めながらぜひ手に取っていただきたい。

△写真の説明▽ 西日本新聞社の資料室に長年眠っていた貴重な1枚。サザエさんが世に出た直後の1946(昭和21)年頃撮影されたものと思われる。当館以外では公開されていない。

能古博物館所蔵「石橋家文書」から—その8(終)—

農民をにわか仕立ての兵隊に

(参照資料・石橋家文書154、155)

友の会会員 石橋善弘

黒船来航以来、開国が攘夷か、佐幕か倒幕かをめぐって世情騒然たる中、各藩は時代の変遷にともなう軍制の改革を迫られる。銃砲を主とし鉄砲隊を前面にだす西洋の近代戦法である。まず高杉晋作が「奇兵隊」として市井の農民・町人もまぎこむ軍隊を編成し戊辰戦争にも活躍した。それをみて各藩も競って農民らを訓練して、農兵隊として軍制に取り入れたのである。

この「農兵」について、最近、石橋家文書の中に興味ある資料(石橋家文書154・155)が見つかった。即ち、「福岡県史(昭和40年)」によると福岡藩での農兵成立は慶応4年(明治元年、1868)2月となっているらしいが、それより前の1月21日出された文書が存在したのである。10日ばかりの差とはいえ、農兵成立以前の、いわば内示段階での雰囲気を探る上では重要な資料であると思われる。

お伺いと回答

福岡藩でも、配下の諸郡・諸町村に対し、農民を兵隊として訓練するよう指令を出したのだが、石橋家文書155番(写真1)は、そのような指令を受けて、早良郡片江村大庄屋石橋伊三郎が講じた措置の報告と細部についての問い合わせである。この問い合わせに対して、後日郡役所から回答があったとみえ、その回答が各項目の上に貼紙として残っている。以下では問い合わせ事項と回答を並べてみていく事にしよう。

「慶応四年辰正月
農兵御取起二付伺書」

早良郡片江村大庄屋石橋伊三郎、乍畏御伺申上ル事

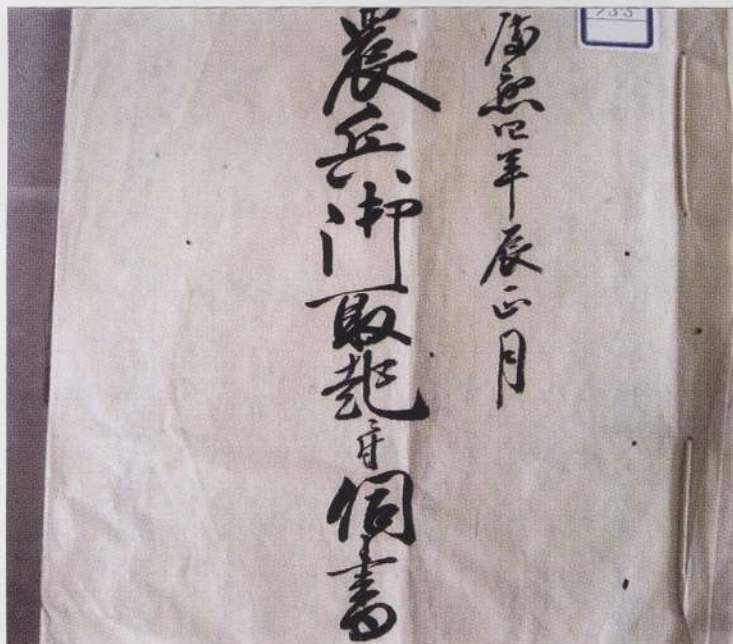
一世上、統不穩時勢二押移、何時異変可指起哉も難斗体勢、御上深キ被為遊御配慮、此の節農兵御取起之儀、御委細被仰付奉畏候乍畏私存寄左二御伺申上候

一農兵私触下村々二面百五拾人、人品相撰相立可申候事但村々歳・名・人数之儀は、近日書可申候事

一組式拾五人二相極、組毎二指揮役相立、合印を定、鍛錬可仕候事

ここまでは、挨拶に続いて、村ごとに150人を選出し、1組25人で訓練したいという陳述である。

(写真1)



一私触下村々、和筒等も是迄所持仕居候者稀二有之、指向稽古指支申候間、蘭筒相求度、併難渡者勝二面、自力を以相求候儀難出来二付、乍畏右筒左之通拝借被仰付度、代料之儀八年賦上納二被仰付可被為下候。是迄稀二和筒所持仕居候。分も、追々蘭筒二仕替可申候へ共、指当右等之儀も難出来二付、当時之處は、借立等を以、両様取交相用候儀、御免被仰付度候事

一蘭筒百挺

「支配下の村々には和筒を持っている者もいるが、蘭筒を揃える財力はないので藩から借りたい、借用料は年貢で収めたい」という要望に対し、回答(貼紙)では、「蘭筒はすぐには準備できないので、さしあたり和筒を貸し与える。当分和筒で稽古するように。各自の才覚で蘭筒を求め、とりまぜて稽古するのは自由」といつている。

要するに訓練用の洋銃も自分たちで揃えてくれということである(写真2)。

一玉葉之儀、年中稽古人用余分之儀二可被相成、左二面は自力に難及、乍畏 御救渡被仰付度候事

「玉葉(砲弾)は自力では購入できないので何とかして欲しい」という要望に対し、回答(貼紙)は「郡役所から渡す」となっている。

一射場所之儀、左之ヶ所二御免被仰付度候事

松原村之内 太平寺堤

片江村之内 西ノ堤 有田

西村之内 小田部 船頭原

右之外 西新町 姪浜両村二ヶヶ所宛 射場

所御免被仰付 右ハ追而取

調子可申上候

但射場所之儀は年中打方御免被仰付度候事

「射場所は松原村大平寺堤(現福岡市城南区)等
 でよろしいか」との問い合わせに対し、回答(貼紙)は
 「場所については見分の上、今後指示する。年中射撃
 訓練をしてよいかどうかも見分して指示する」とな
 っている。

伊三郎、頑張る

一農兵共打方手馴候迄ハ 余分之隙欠キ二相成候二
 付 面役壹人引二被仰付度 尤面役引二相成候
 而ハ 私触下村々縁之面役人数二有之 御免用
 諸普請其外共 出夫大二指支可申 相見込申候
 二付 面役米として 壹人二付米式表充 御救
 渡被仰付可被為下候事

(中略)

「射撃が上達するまでは農作業ができないので、
 面役(普請などのために村から人手を出す(出夫す
 る(義務)を一人分軽減してほしい。もし、それができ
 ないならば、(代わりの者を雇わなければならな
 いので)米二俵いただけないか?」との問いかけ、さら
 に中略した部分では「訓練に時間をとられ通常の仕
 事に差し支えるので、村で寄せ案山子をつくる為の
 竹の購入費用、縄をなうための費用など補助しても
 らえると、村民が安心して訓練に励む事ができます」
 といっているのに対し、回答(貼紙)は「面役米につ
 いては藩としても出費多端の折でもあり、かねてから
 論じていた通り、農兵は郡内自衛のためでもあるの
 で、この問題を取り上げるのは難しい。ただし、よく
 精を出した者はその度合いによつては検討すること
 もあり得る。また農兵の為に本業がおろそかになつ
 てはいけませんので、暮らし向きに支障のない者を農
 兵に撰んで欲しい。そして、無駄を省き、本業をサボ
 らず、志を立てて事にあたるよう教えてやってくれ。

勤務状態がよい者は追々正規の兵卒に推挙するこ
 ともあり得るのだから」としている。

案山子づくりのための費用など細かいことを持
 ち出して、少しでも藩から引き出そうとしている伊
 三郎が涙ぐましい努力をしているのがよくわかる。
 それに対する回答は何の事はない、兵卒に推挙する
 という餌をちらつかせ乍らも、トドのつまり、お金の
 ことは自分たちで何とかしろということらしい。

一農兵砲術為鍛錬 月々一度宛左之通会日相極度
 射場所仕構成成就之上 定日
 打方仕候説は 御見分被仰付度候事
 毎月 九日 農兵惣会

但前後急引不仕候而は 区々ニ可相成候二付
 相応身構為仕度左二申し上げ候

格式井庄屋中江は塗笠・呉呂服之割羽織
 裁付着用 其以下手製之張
 笠ならびに二刀手繰 股引 脚絆為相用
 度候事

(後略)

以上

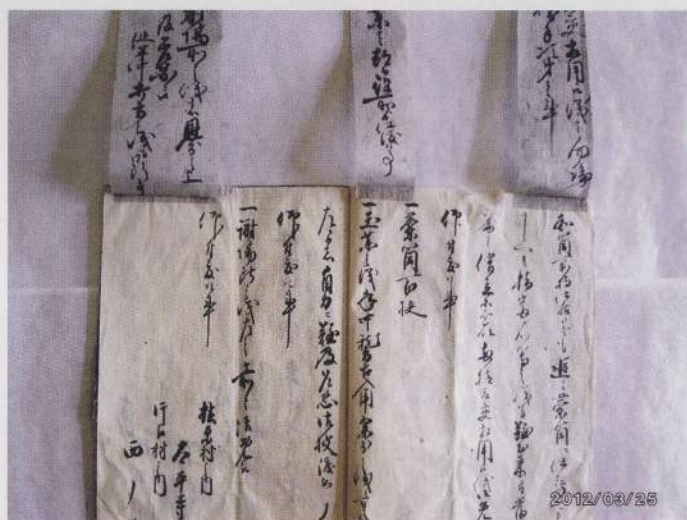
片江村大庄屋 石橋伊三郎

慶応四年辰正月廿一日

早良志摩怡土御郡御役所

最後段にある「訓練日(毎月9日)には見にきてほ
 しい。服装はこんなところでよいでしょうか?」とい
 う問い合わせに対し、回答(貼紙)は「見分には必ず
 行く。平日の訓練は平服。庄屋以上は裁付 帯刀不
 苦(帯刀苦しからず)、尖笠。庄屋以下は半天手繰間、
 股引、尖笠。右尖笠については別紙で雛形を渡す」と
 ある。さらに念を押すかの様に、「幹部には庄屋以上

(写真2)



で人柄のよい者を撰んでほしい」と付け加えている。
 このような回答を出したのは浅右衛門と惣右衛門、
 日付は辰三月となっている。つまり、二月の問い合
 わせに対する回答が三月にはいつてなされたというこ
 とらしい。なお、回答者の二人、大森浅右衛門と倉八
 惣右衛門は郡を直接支配した郡代らしい。

この農兵の話はまだまだ続くのであるが、紙面の
 制約もあり、今回はこの辺で筆をおく事にする。な
 お、本稿を記すにあたり「石橋家文書研究会」会員で
 もある瀬戸美都子さん(「能古博物館友の会」会員)
 の報文(地域史研究会・福岡「研究会報第3号」)を
 参考とさせて頂いた。改めて感謝の意を表する。

(注)好評の本稿は8回でいったん終了。機会をみて続編を掲
 載する予定です。(編集部)

新刊紹介

『儒学者 亀井南冥 ここが偉かった』

早船正夫著(花乱社刊)

亀井南冥六代目の孫にあたる早船正夫さん(88歳)「福岡市西区」が、自らの亀門学を世に問う大著『儒学者 亀井南冥 ここが偉かった』(定価三千円+税)を地元の花乱社から出版した。約4百ページ。帯には『筑前亀井ほどの学者は京都にもいない——森鷗外』とある。著者の論旨を代弁するかのようだ。

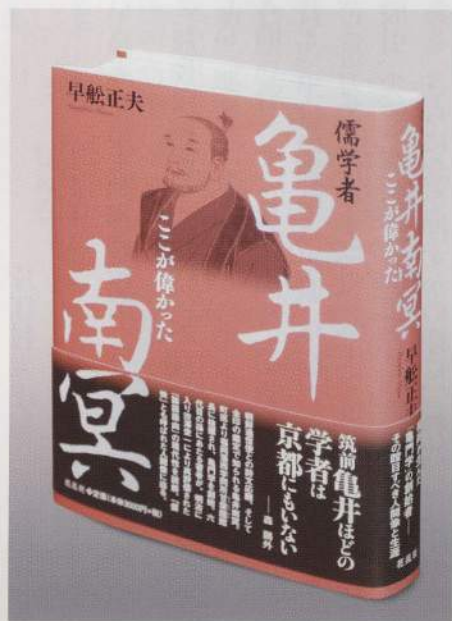
また「序」を寄せた町田三郎さん(九州大学名誉教授)は「南冥は元来布衣のひとである。一般民間人であつて武士階級、すなわち支配階級の人ではない。この立ち位置こそ亀井の学の背骨であつた」と述べ、現代にも通じる権力対反権力の構図を示す。この指摘は亀門学初心者を導く格好の羅針盤だろう。

註・布衣(ほい)とは布製の狩衣のこと。江戸時代、六位以下に着用した無紋の狩衣。また六位の者の異称。庶民。|| 広辞苑から||

著者のご了解を得て書き出しの序章の一部を紹介しよう。

私は亀井南冥の六代目の孫に当たる。私の祖母ミキは、昭陽の孫である玄谷の二女である。文久三(1863)年生まれ。祖母には亀井塾の記憶の断片が遺つており、それらを幼い私に語つて聞かせることがあつた。それだけに「亀井南冥先生は偉かった」との思いは幼時より抜きがたいものがあつた。私は青春時、福岡県立中学修猷館に学んだ。南冥の甘棠館のライバル藩校修猷館の明治期衣替え校である。

祖母は江戸時代の藩校修猷館への亀井側の反感を引きずつていて、私の在学について終始あまりよ



い顔をしなかつた。ほかに適当な学び舎がないのなら仕方ない、と思つていたらしい。それは昭和十年代のことで、既に衣替え後の県立修猷館の卒業生から、時の内閣総理大臣廣田弘毅が出ていた頃の話である。

私は今、八十八歳になる。幼時より「南冥は偉かった」と聞かされ続けてきた。しかしここが偉かつたのか、客観的に掛け値のない、時代を超えた評価について、ついに納得しないまま、馬齢を食つてきた。これではならじと、この二十年来少しずつ原稿を書きためてきた。これが本書である。

▽著者早船正夫さんの経歴

(はやふね・まさお)1924(大正13)年、福岡市生まれ。福岡県立中学修猷館、満州国建国大学、九州大学文学部(経済科/法科)を卒業。福岡銀行を定年退職後、諸会社に勤務。中国古典は『大学』、『論語』を建国大学において学ぶ。福岡地方史研究会会員。

△謝意▽早船正夫さんから著書『儒学者 亀井南冥 ここが偉かった』を10冊ご寄贈いただきました。深く感謝致します(能古博物館)

能古博物館

公益財団法人に衣替え

能古博物館は4月1日付けで公益財団法人になります。公式名称は従来の『財団法人』から『公益財団法人 亀陽文庫能古博物館』に変わります。福岡県から3月19日、移行認定書を交付されました。

原寛理事長兼館長の話 認定は当館の存在価値と活動歴が評価されたものと受け止めています。社会的責任の重さを痛感します。安定した運営には皆様のご理解が欠かせません。どうか倍旧のご支援をよろしくお願い致します。

定例理事会開催

決算、予算案を承認

能古博物館は3月26日、福岡市東区の原土井病院会議室で定例理事会を開催した。平成24年度決算、同25年度予算案を審議、いずれも全会一致で承認された。また公益財団法人への移行を前に館の運営に関し活発な意見を交わした。

お花見に17人

新老人の会福岡支部

桜吹雪の舞う3月29日(金)、新老人の会福岡支部(原寛世話人代表)の会員ら17人がお花見を兼ねて来館した。6面に関連記事。本館の『日野原ホール』で展示内容の説明を約30分間聞いた後、『海の部屋』と喫茶コーナーに分かれて持参の昼食をとり、昼過ぎから約1時間半かけて本館と別館の展示を見て回った。

当初は前庭にゴザを敷いて弁当を開き、散り初める桜の花を鑑賞する計画だったが、あいにくの冷たい風に窓の内側からのお花見になった。

△お知らせ▽当館は広いゴザとシートを用意しています。事前に御相談があれば貸し出しに応じます。

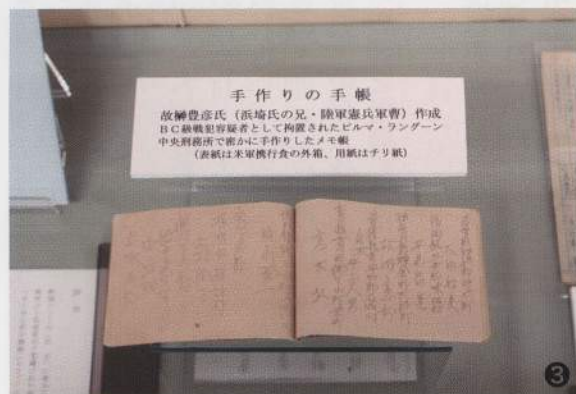
さらに充実 新たな展示物ぞくぞく



①



②



③

▽写真③ 戦犯容疑の元憲兵がビルマの刑務所で密かに手作りしたメモ帳。表紙は米軍の携行食(Cレイション)の外箱を利用。用紙は支給さ

ていた本人の社員名簿(写し) 〓 右側 〓
 ※敗戦当時の日本人社員は約16万人。その名簿が奇跡的に日本に返還されていた。

▽写真① 元満鉄社員の各種預金、保険通帳、引揚げ関連書類、戦前の旧10円紙幣、同1円紙幣、戦後の10円紙幣などの一部。

◇別館2階「海外引き揚げの記憶」◇

別館2階の常設展示『海外引き揚げの記憶』が、さらに充実しました。コッコツと積み立てた生命保険、貯金通帳の金額欄、現在の数万円に匹敵する旧10円紙幣など、敗戦前の旧満州でごく普通の日本人がどのような暮らしをしていたのか、想像するに十分な資料です。
 戦犯容疑で捕えられた兵士がビルマの獄中

館の新たなテーマ「博多湾物語」のシンボルにと5年前、帆柱に似せて建てた信号旗掲揚の太い柱は電柱用の杉丸太を転用したもので、高さは7.5メートルある。横棒に3本の掲揚索をぶら下げ、

◇シンボル 国際信号旗を更新◇

※西南学院(福岡市)在学中に学徒出陣。現地人虐待の容疑で拘留されたが、直属の隊長M大尉(神奈川県出身)が罪を一身に背負って部下の命を救い、自らは断頭台に上ったとされる。メモ帳には細かなエンピツ書きでM大尉の住所、辞世などが残されていた。

れたチリ紙とみられる。

でこしらえ、監視の目をくぐって持ち帰ったメモ帳も登場しました。復員と呼ばれた日本軍隊解体の過程で何が起こったのか、戦争を知らない世代にぜひ観ていただきたい資料です。
 寄贈資料を中心に地図、写真、新聞記事のコピーなども追加して、敗戦→祖国への引揚げを多角的に展望しています。

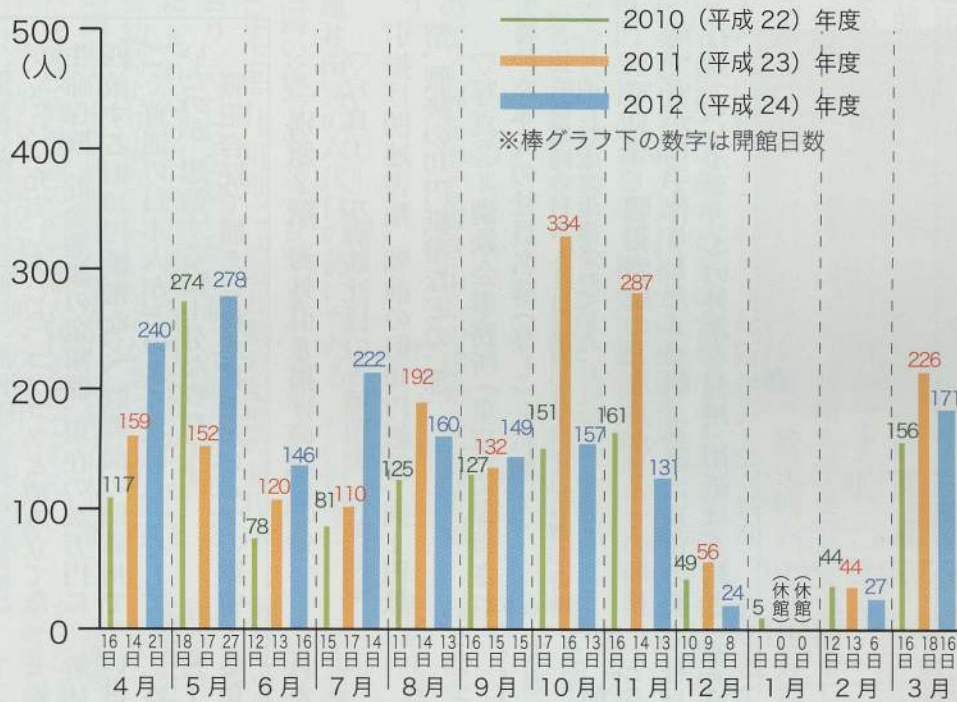


博物館(丘の中腹)は船溜りから徒歩7〜8分。

(新しくなった信号旗)

満艦飾の信号旗が風にはためくさまは、能古島へ向かう市営渡船の進行方向や左側にくっきりと見える。中央の日章旗の下は日本海海戦で有名なZ旗。館の心意気を示す。左右はアルファベットでMUSEUMとNOKOを表す。
 悩みのタネは旗の維持管理。台風や冬季の季節風に容赦なくさらされるため、年間2〜3回交換しなればならない。今年もこの2月、冬季休館明けを機会に更新した。

最近3年間の入館者数(月別)推移



年間入館者総数 本年度足踏み

開館日数にバラツキがあるので正確な比較はできないが、平成20、21年度連続して2千人台を記録した年間入館者総数は、22年度に大きく落ち込み、翌23年度やや持ち直し、本年度へ期待をつないだが、昨年の秋口3カ月間の天候不順が影響して失地回復は成らなかった。とりわけ大口団体50人が

◇最近5年間の開館日数と総入館者数◇

	開館日数	総入館者数	1日当たり
平成20年度	151	2,153	14.3
21	179	2,257	12.6
22	160	1,423	8.6
23	160	1,818	11.4
24	162	1,705	10.5

台風襲来で急遽キャンセルになったのは痛手だった。
1日当りの入館者数でも5年前の最高14・3人をなかなか破れない。主因は来島観光客の長期減少傾向。22年3月発生の人死体漂着事件の影響を指摘する声もある。
来年度は観光客の増加が見込める5月、10月の開館日数を増やす方向で受け入れ態勢の強化を検討しているが、いずれにしろ館単独の経営努力では限界がある。



クイズ(前号)のお答え

『海の部屋』の10脚の椅子に隠された作者の“遊び心”は何か。

それは一脚ごとに材質の一部が異なることです。マホガニー、カリン、とち、せん、くす、けやき、ホワイアッシュ、なら、メープル、ヨーロッパなどの10種の材木を使いました。ぜひご覧になって下さい。



▽11月25日(日)奈良文化女子短大吉田ゆう教授▽本年3月29日(金)「新老人の会福岡支部」の17人 ※花見会を兼ねて▽同3月30日(土)光円「能古吟行会」の25人。

▽9月5日(水・臨時開館)博多を歩き学ぶ会の入江稟三さんら11人▽9月21日(金)新老人の会鹿児島支部の有川優子さんら7人▽9月29日(土)福岡市・草ヶ江校区男女協同参画グループ16人
▽10月5日(金)能古小学校4年生4人
※館の歴史、館員の働き甲斐などで質問▽10月6日(土)友の会最古参会員(22年間)のひとり吉瀬宗雄さんら2人▽10月14日(日)NPO法人筑前立花会の堀田繁人さんら9人▽10月19日(金)福岡県立修猷館高昭和26年卒(26会)の秋吉包雄さんら12人 ※写真・非来館者を含む ※二行中には(財)広瀬資料館(日田市)理事長長瀬真雄さん(東京都在住)も▽10月23日(火・臨時開館)行橋市南区区長会の24人▽11月9日(金)福岡県粕屋町・前田光明さん(77歳) ※館創始者真藤慎太郎氏の甥▽11月10日(土)九大農学部留学生ら7人 ※館物展示を中心に▽11月23日(金)光円能古島吟行会の服部たか子さんら20人▽11月24日(土)大分県日田市「窓会」の会員15人 ※吉田洋一久留米大准教授(本館非常勤学芸員)が「亀井南冥の人物像」を話す

主な来館者(平成24年9月～同25年3月)



アクセス

西鉄バス

・JR博多駅 博多口正面Aのりば
300、301、302番 能古渡船場行: 約50分

・天神 三越前1Aのりば
300、301、302番 能古渡船場行: 約30分

市営地下鉄:「姪浜駅」下車 乗り継ぎ

・西鉄バス姪浜駅 北口
98番 能古渡船場行: 約12分

・タクシー: 約 8分

市営渡船(フェリー)

・姪浜一能古島間: 約10分

能古島渡船場より博物館まで

・徒歩: 約5分～10分

・アイランドパーク行き西鉄バス停
「能古学校前」下車、徒歩(下り坂)約3分

問合せ

姪浜旅客待合所 TEL 092-881-8709

能古旅客待合所 TEL 092-881-0900

開館日/毎週 金曜・土曜・日曜と祝日

(注) 冬季(12月～1月)は、年末年始及び展示物入れ替えなどで長期休館を原則としています。御用の場合は事前にお問い合わせ願います。

開館時間/10:00～17:00(入館16:30まで)

※団体の場合は休館日にかかわらずご相談ください
団体20名以上2割引

入館料/大人400円・高校生以下無料

	能古 発	姪の浜 発
1	05:00	05:15
2	06:00	06:15
3	06:30	06:45
4	07:00	07:15
5	07:30	07:45
6	08:00	08:15
7	09:00	09:15
8	10:00	10:15
9	11:00	11:15
10	12:00	12:15
11	13:00	13:15
12	14:00	14:15
13	15:00	15:15
14	16:00	16:15
15	17:00	17:15
16	17:30	17:45
17	18:00	18:15
18	18:30	18:45
19	19:30	19:45
20	20:15	20:30
21	20:45	21:00
22	21:45	22:00
23	22:45	23:00

◎印は日祝日運休 2013年4月現在

渡船場からアイランドパークへの西鉄バス時刻表(平成25年3月31日現在・4月以降一部改定の予定)

渡船場前発(能古学校前まで約2分)

時	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
平日	12 55	45	30	30	55	35	35	35	45		
土曜日	12 55	45	30	30	55	35	35	35	45		
日・祝日	12 55	45	30	30	55	35	35	35	45		00

アイランドパーク発(能古学校前まで約8分)

時	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
平日	30	20	3	13	28	18	18	18	18	28	
土曜日	30	20	3	13	28	18	18	18	18	28	
日・祝日	30	20	3	13	28	18	18	18	18	28	38

※ 繁忙期はバス、渡船とも臨時便が運行されます。



公益財団法人 亀陽文庫

能古博物館

〒819-0012

福岡市西区能古522-2

TEL 092-883-2887

FAX 092-883-2881

<http://nokonoshima-museum.or.jp>

E-mail info@nokonoshima-museum.or.jp